

「声明文」

貴国が、5月にネバダ州で、臨界前核実験を行っていたことが明らかになりました。

核爆発を伴わないとはいえ、2022年9月に続いて臨界前核実験を実施したことは、貴国が今後も核兵器を持ち続ける意志を表明したものと受け取れる行為であり、私達がこれまで重ねて抗議してきたにもかかわらず、核実験が繰り返されている事実に強い憤りを覚えるものです。

本市では、平和の尊さを痛感し1957年に市民ぐるみの「座間市原水爆禁止協議会」を結成し、1982年には「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて根強く運動を展開してまいりました。そして、機会あるごとに世界に向かって核兵器廃絶はもちろん、核実験の中止を訴えております。

世界恒久平和の実現と核兵器の廃絶は、世界で唯一の被爆国である日本の国民共通の悲願であり、今回の核実験も含め、貴国が行ういかなる形の核実験も即時中止し、核兵器を廃絶することを強く要請いたします。

2024年6月5日

アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ラーム・エマニュエル 閣下

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥斗



事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市総合政策部人権・男女共同参画課
電話 046-252-8087